

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月29日
【四半期会計期間】	第88期第2四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	サッポロホールディングス株式会社
【英訳名】	SAPPORO HOLDINGS LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上條 努
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号
【電話番号】	03(5423)7213（経理部）
【事務連絡者氏名】	経理部長 松出 義忠
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号
【電話番号】	03(5423)7213（経理部）
【事務連絡者氏名】	経理部長 松出 義忠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人札幌証券取引所 （札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月12日に提出した第88期第2四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

4 財務状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(2) キャッシュ・フローの状況

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

4 【財務状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

(前略)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は200億円（前年同期は106億円の収入）となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出154億円、有形固定資産の取得による支出29億円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は137億円（前年同期は13億円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入145億円、コマーシャル・ペーパーの純増加額340億円があった一方、短期借入金の純減少額25億円、長期借入金の返済による支出110億円、社債の償還による支出200億円、ファイナンス・リース債務の返済による支出9億円があったこと等によるものです。

<訂正後>

(前略)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は200億円（前年同期比94億円、88%増）となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出154億円、有形固定資産の取得による支出29億円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は137億円（前年同期比123億円、926%増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入145億円、コマーシャル・ペーパーの純増加額340億円があった一方、短期借入金の純減少額25億円、長期借入金の返済による支出110億円、社債の償還による支出200億円、ファイナンス・リース債務の返済による支出9億円があったこと等によるものです。